

に予防有用型の平均値は3回目に最も高い値を示していた。

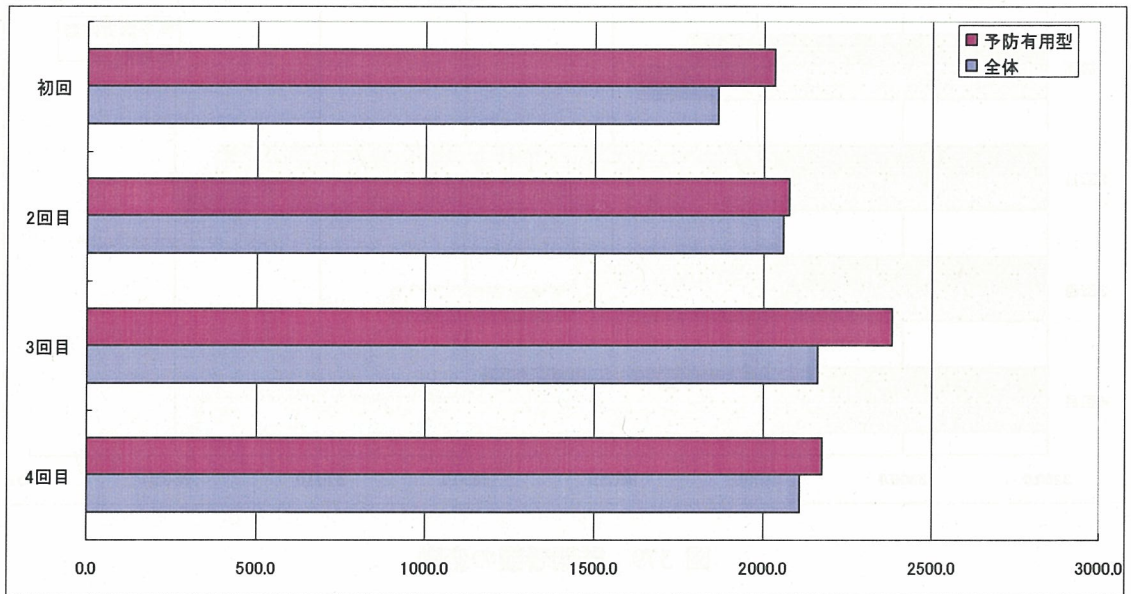


図 381 訪問リハの変動

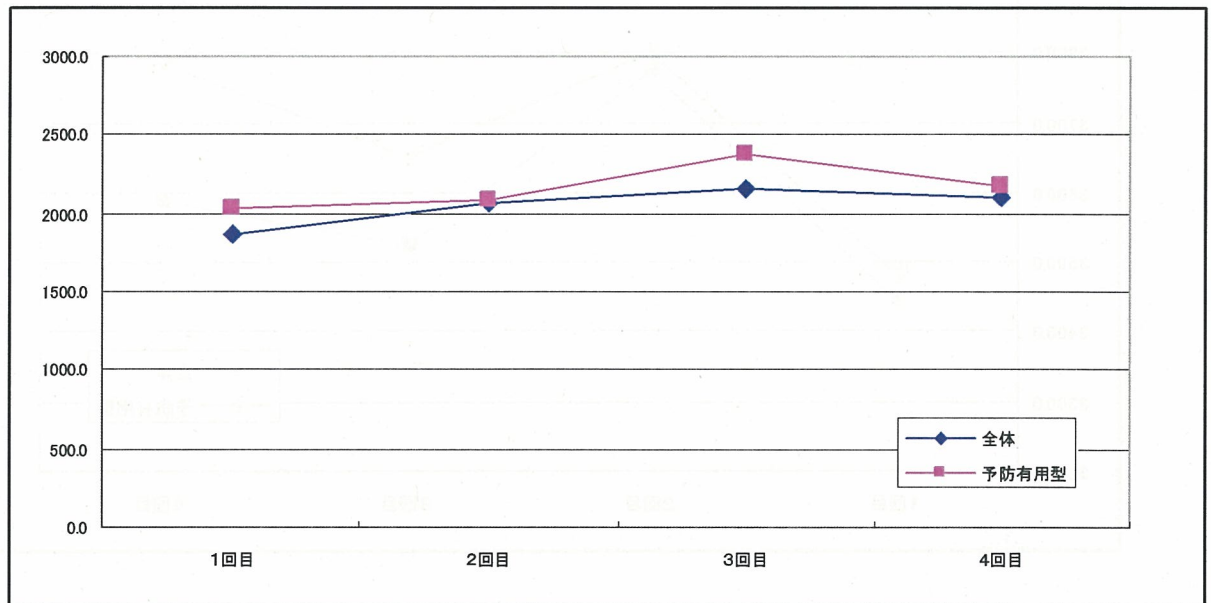


図 382 訪問リハの経年的変化

(7) 通所介護

全体の傾向としては、通所介護の1人当たりの平均値は初回で3855.2単位、2回目で4833.3単位、3回目で5338.5単位、4回目で5826.0単位となっていた。

予防有用型では、通所介護の1人当たりの平均値は初回で3190.6単位、2回目で3850.0単位、3回目で4256.3単位、4回目で4624.3単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値は低かった。全体の傾向と同様に予防有用型に関しても、平均値は初回から4回目に漸次、増加していた。

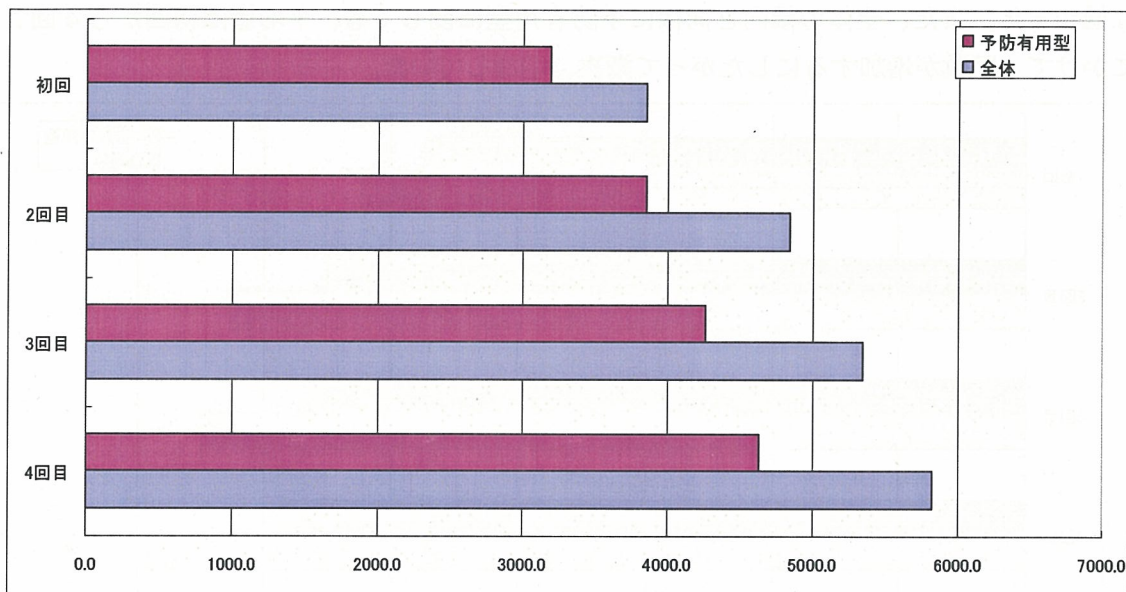


図 383 通所介護の変動

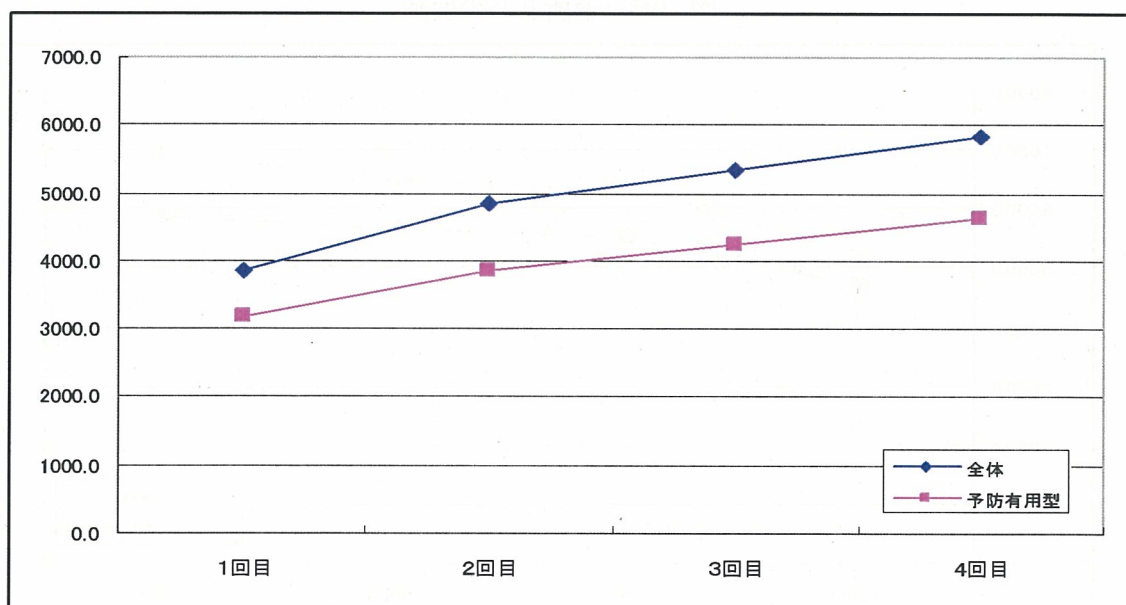


図 384 通所介護の経年的変化

(8) 通所リハ

全体の傾向としては、通所リハの1人当たりの平均値は初回で5239.3単位、2回目で6283.7単位、3回目で6508.1単位、4回目で6907.2単位となっていた。

予防有用型に該当した集団では、通所リハの1人当たりの平均値は初回で4712.0単位、2回目で5493.8単位、3回目で5666.4単位、4回目で5875.4単位となっていた。

通所リハも通所介護と同様に、どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値は低かった。また、全体の傾向と同様に予防有用型に関しても、平均値は初回から4回目にかけて、回数が増加するにしたがって漸次、増加していた。

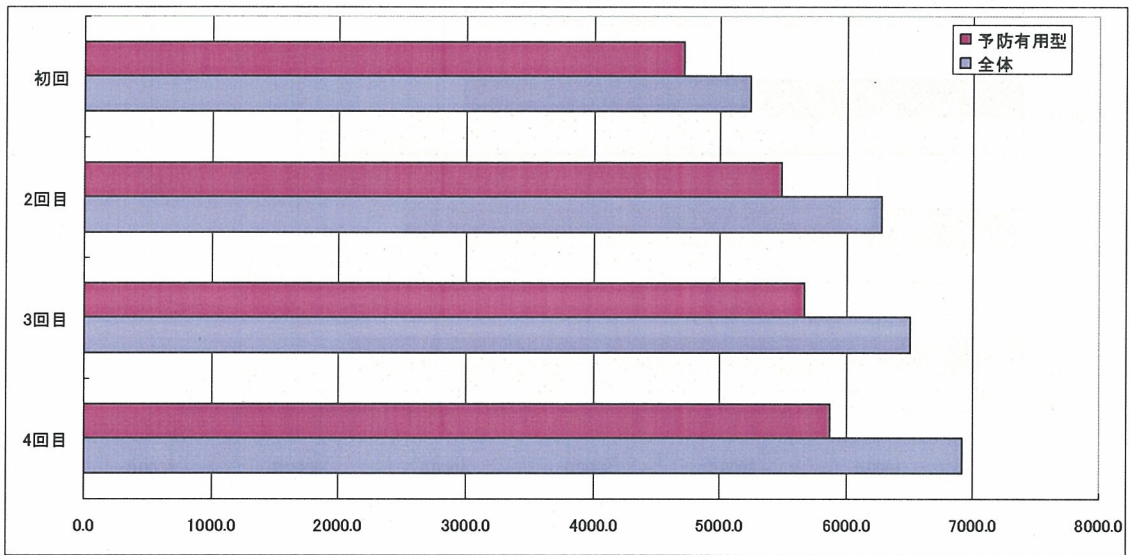


図 385 通所リハの変動

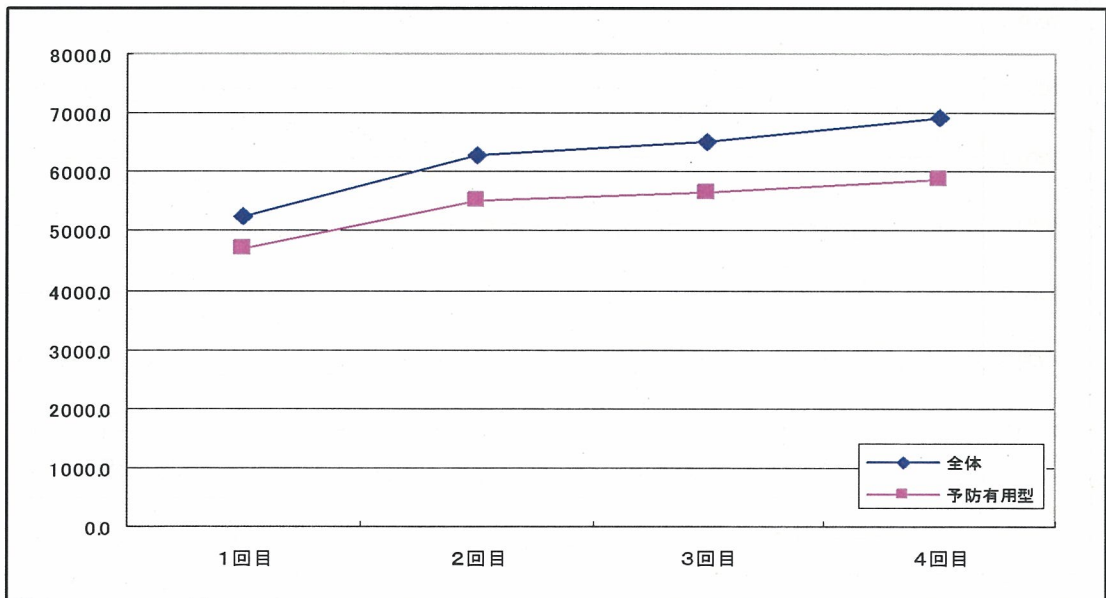


図 386 通所リハの経年的変化

(9) 用具貸与(車いす)

全体の傾向としては、用具貸与(車いす)の1人当たりの平均値は初回で857.0単位、2回目で917.2単位、3回目で920.6単位、4回目で931.7単位となっていた。

予防有用型に該当した集団では、用具貸与(車いす)の1人当たりの平均値は初回で1050.2単位、2回目で1137.8単位、3回目で1146.6単位、4回目で1192.7単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が高かった。

また、全体の傾向と同様に予防有用型の平均値は、初回から2回目にかけて増加していたが、3回目は増加はわずかであった。3回目から4回目の増加は、大きかった。

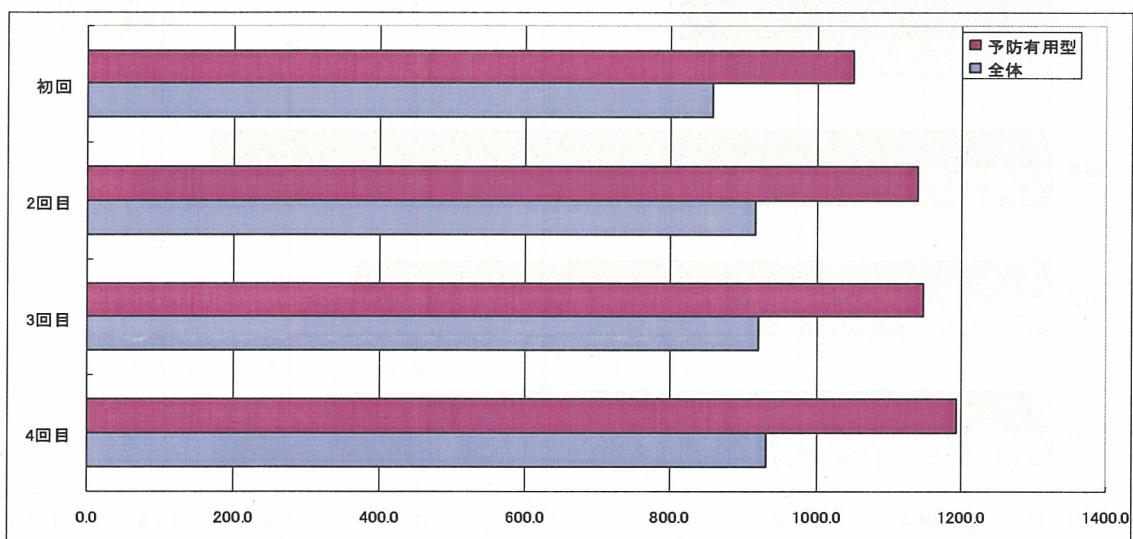


図 387 用具貸与(車いす)の変動

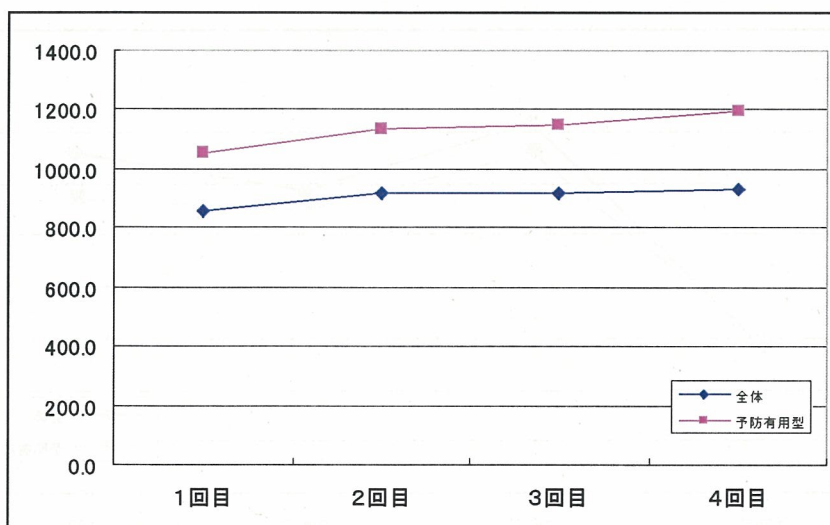


図 388 用具貸与(車いす)の経年的変化

(10) 用具貸与(特殊寝台)

全体の傾向としては、用具貸与(特殊寝台)の1人当たりの平均値は初回で1408.1単位、2回目で1451.6単位、3回目で1438.9単位、4回目で1445.9単位となっていた。

一方、初回認定から4回目の認定までの結果がすべて予防有用型に該当した集団では、用具貸与(特殊寝台)の1人当たりの平均値は初回で1409.2単位、2回目で1446.1単位、3回目で1434.9単位、4回目で1437.0単位となっていた。

平均値は初回以外は、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。しかし、各平均値の差は10単位未満の差であり、利用単位にほとんど差がないことがわかった。

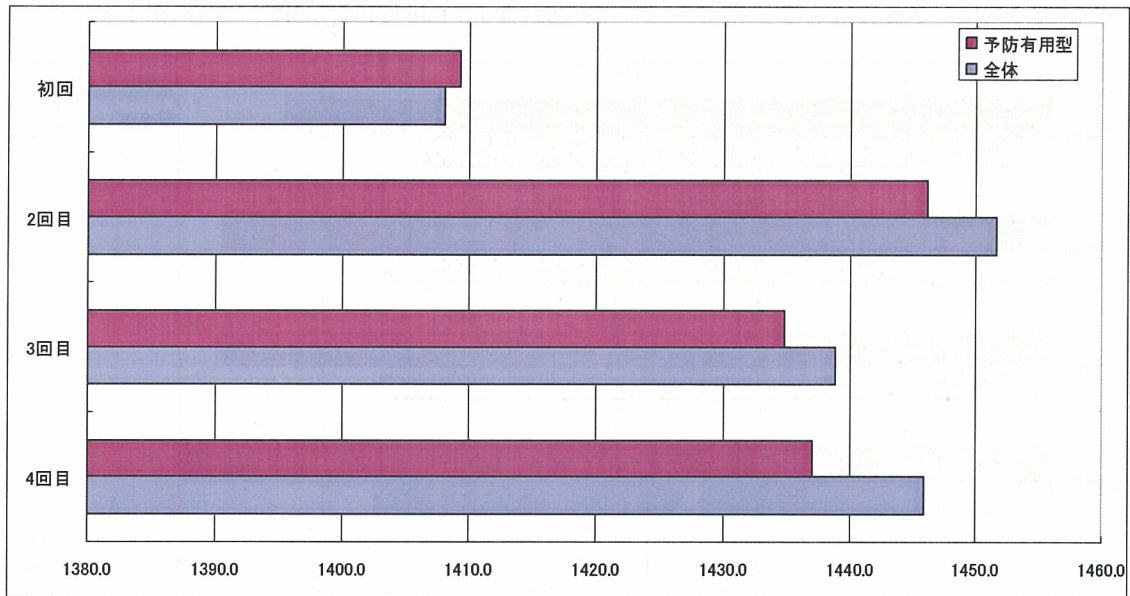


図 389 用具貸与(特殊寝台)の変動

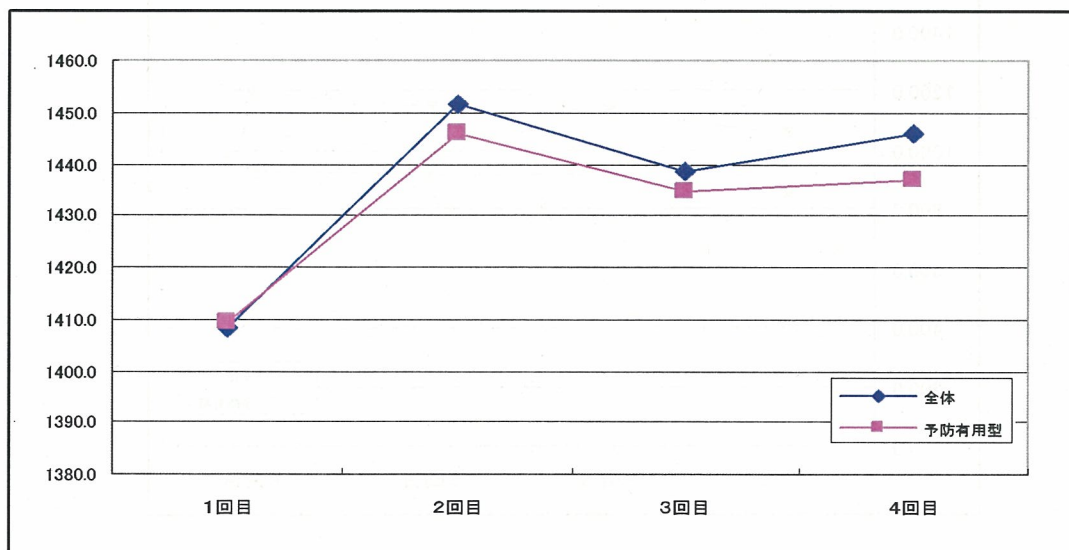


図 390 用具貸与(特殊寝台)の経年的変化

(11) 用具貸与(その他)

全体の傾向としては、用具貸与(その他)の1人当たりの平均値は初回で458.8単位、2回目で499.2単位、3回目で487.6単位、4回目で529.0単位となっていた。

予防有用型に該当した集団では、用具貸与(その他)の1人当たりの平均値は初回で407.2単位、2回目で467.0単位、3回目で427.4単位、4回目で442.4単位となっていた。

どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、予防有用型の平均値は2回目の値が最も高かった。

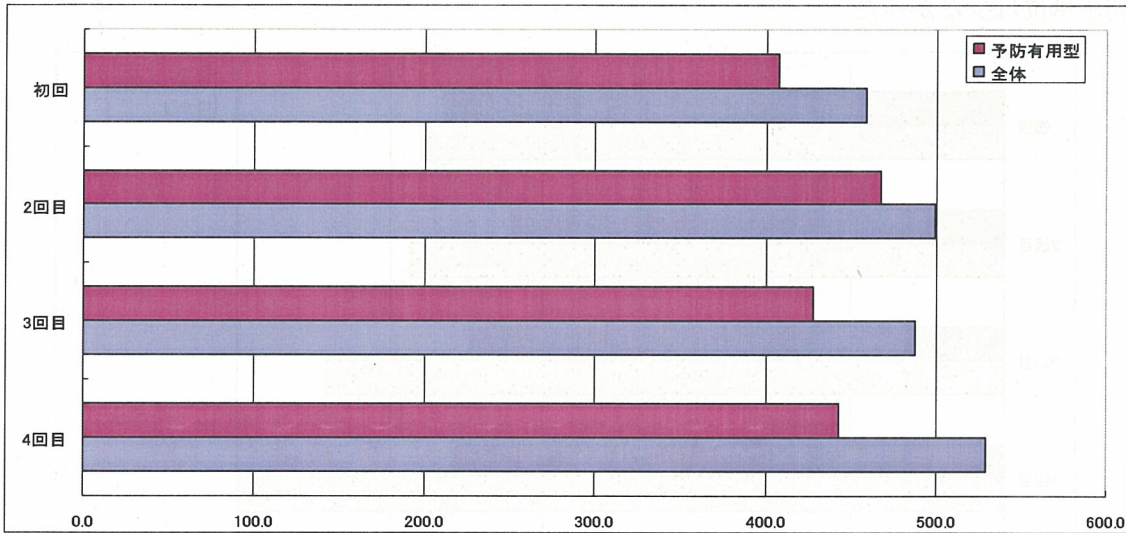


図 391 用具貸与(その他)の変動

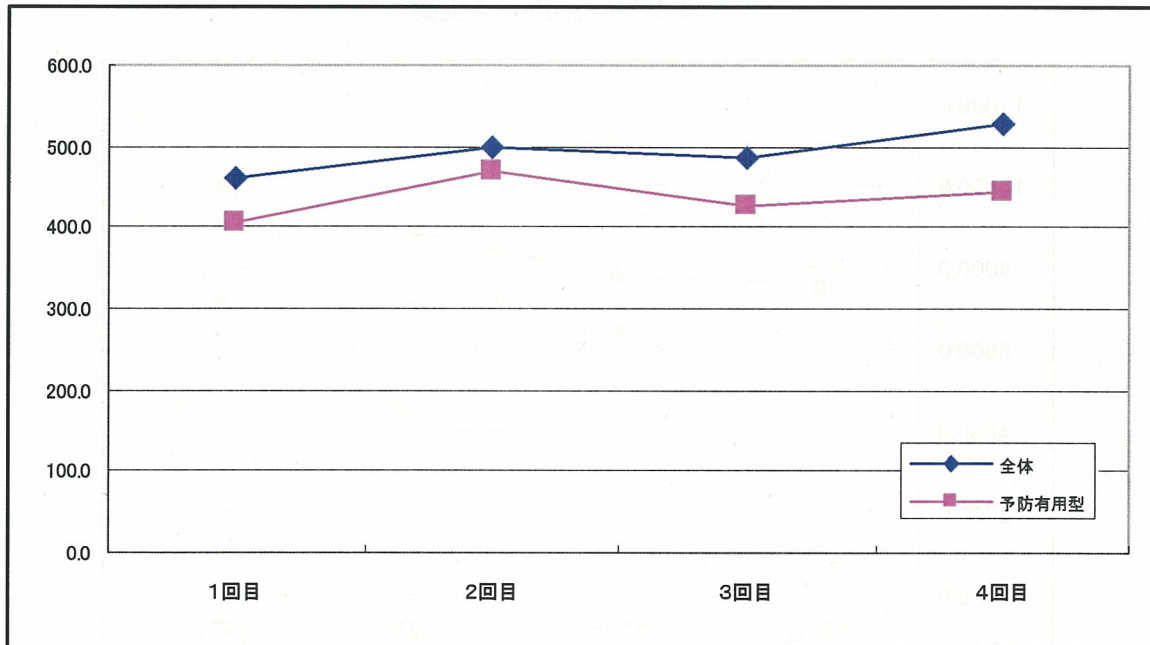


図 392 用具貸与(その他)の経年的変化

(12) 短期生活

全体の傾向としては、短期生活の 1 人当たりの平均値は初回で 7576.9 単位、2 回目で 7744.1 単位、3 回目で 8829.5 単位、4 回目で 9972.7 単位となっていた。

予防有用型では、短期生活の 1 人当たりの平均値は初回で 7293.0 単位、2 回目で 6420.7 単位、3 回目で 6950.3 単位、4 回目で 7150.0 単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から 4 回目に増加しているが、予防有用型では、2 回目に減少し、その後増加していたが全体と比較すると利用単位は少なかった。

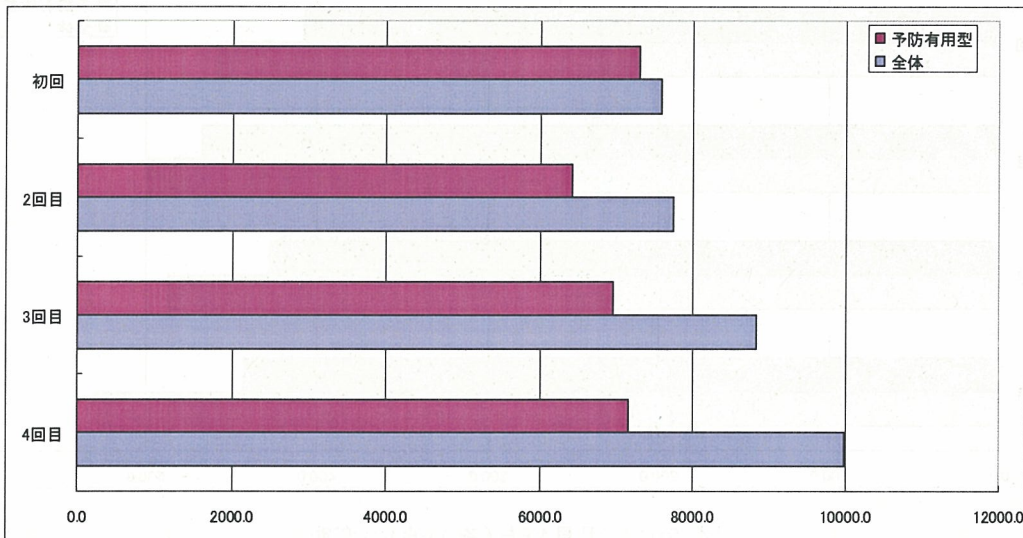


図 393 短期生活の変動

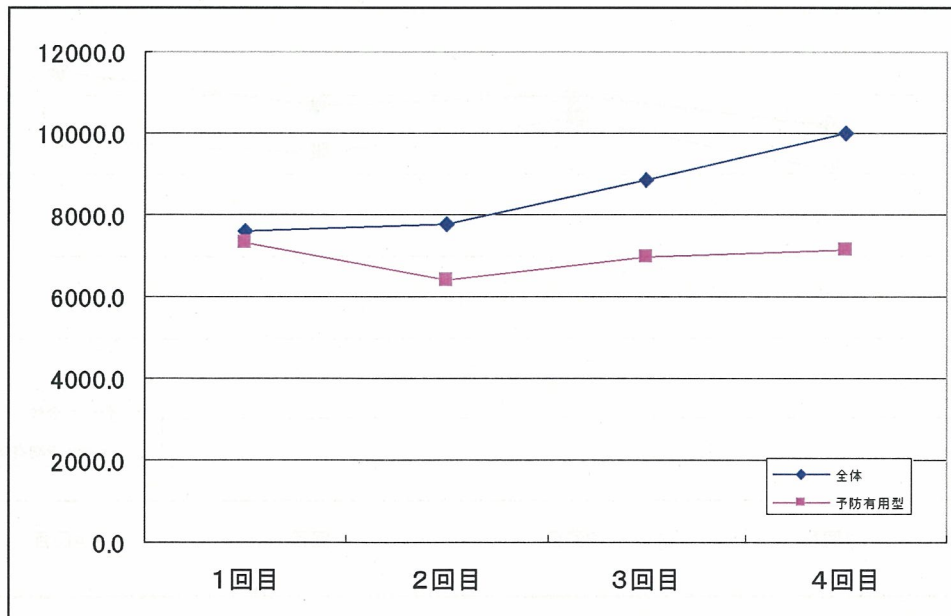


図 394 短期生活の経年的変化

(13) 短期保健

全体の傾向としては、短期保健の1人当たりの平均値は初回で6463.9単位、2回目で6467.4単位、3回目で8148.4単位、4回目で8888.0単位となっていた。

予防有用型では、短期保健の1人当たりの平均値は初回で5908.4単位、2回目で6295.8単位、3回目で7648.6単位、4回目で7239.8単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から4回目に増加しているが、予防有用型では、3回目まで増加し、4回目に減少していた。

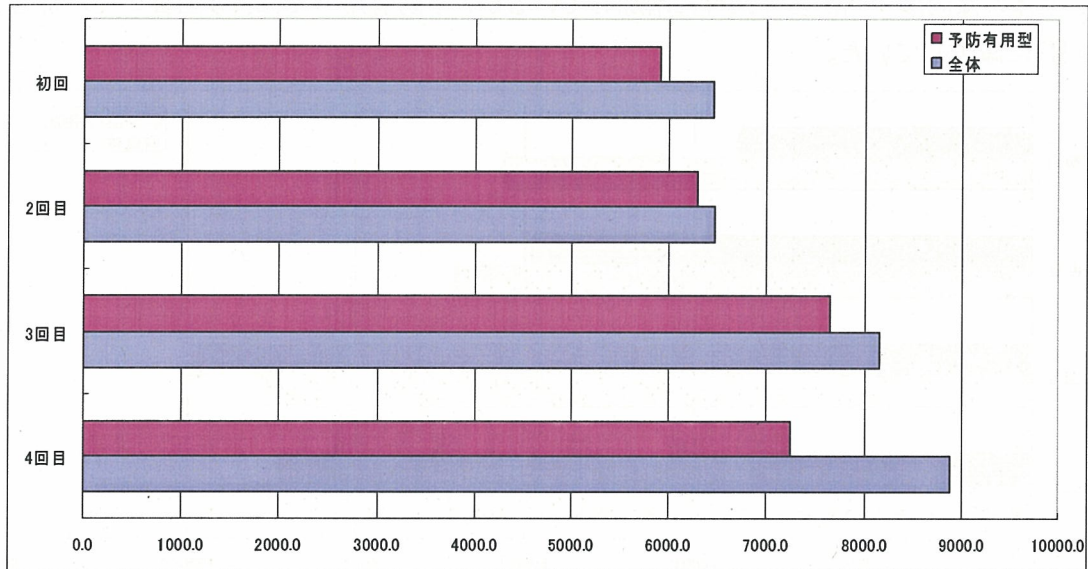


図 395 短期保健の変動

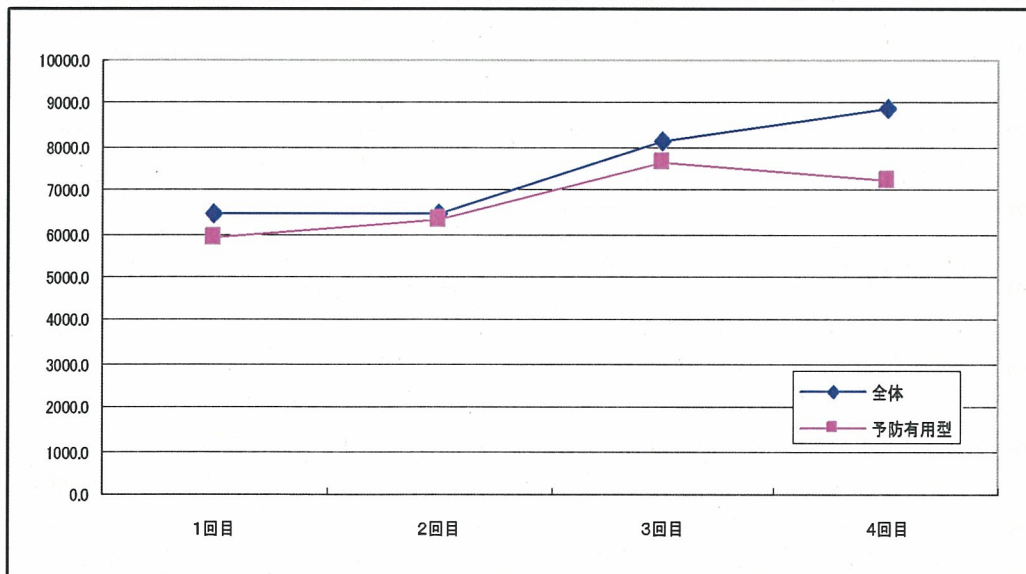


図 396 短期保健の経年的変化

(14) 短期医療

全体の傾向としては、短期医療の1人当たりの平均値は初回で6267.2単位、2回目で6827.0単位、3回目で9054.3単位、4回目で11071.8単位となっていた。

予防有用型では、短期医療の1人当たりの平均値は初回で3477.3単位、2回目で5913.4単位、3回目で9964.6単位、4回目で8933.5単位となっていた。

3回目以外ほどの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から4回目に増加しているが、予防有用型では、3回目まで増加し、4回目に減少していた。

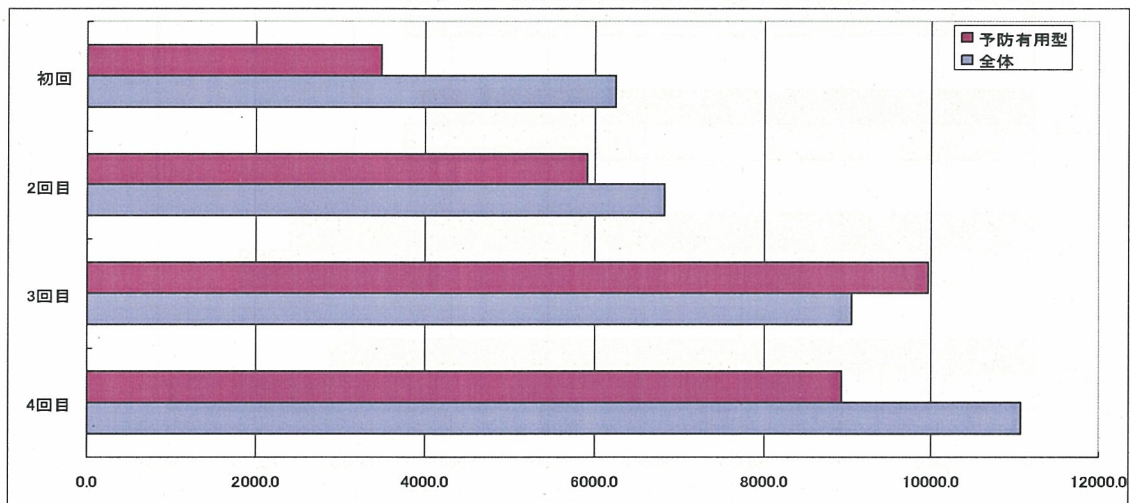


図 397 短期医療の変動

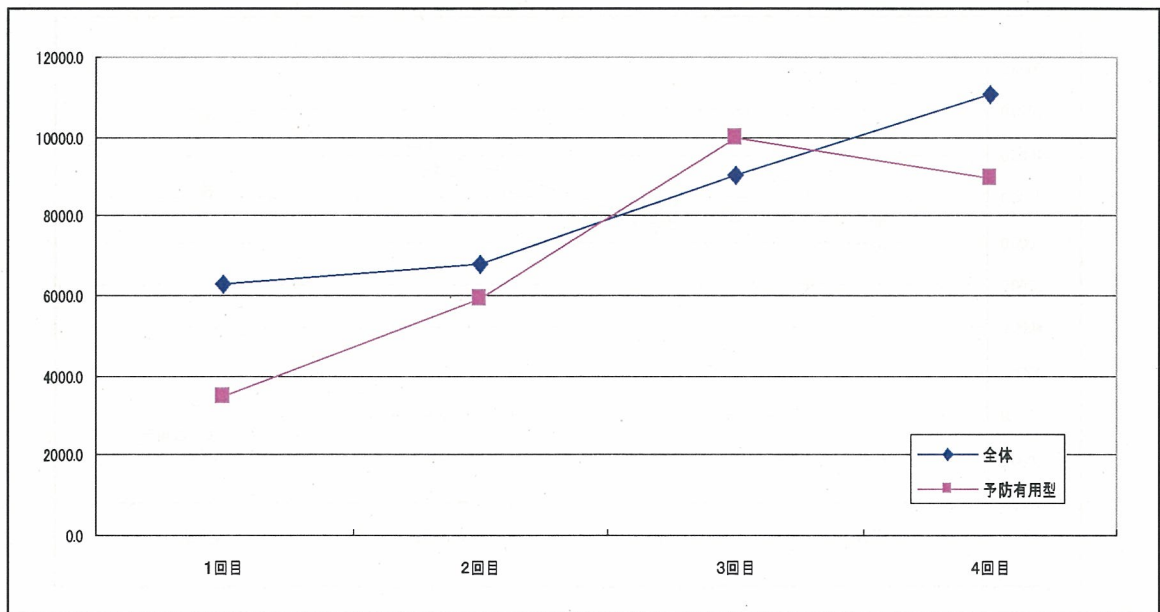


図 398 短期医療の経年的変化

(15) 療養管理（医師・歯科医師）

全体の傾向としては、療養管理（医師・歯科医師）の1人当たりの平均値は初回で746.9単位、2回目で757.8単位、3回目で749.0単位、4回目で766.6単位となっており、漸次、増加していた。

予防有用型では、療養管理（医師・歯科医師）の1人当たりの平均値は初回で739.5単位、2回目で761.3単位、3回目で757.4単位、4回目で757.0単位となっていた。平均値は2回目と3回目以外は、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から4回目に増加しているが、予防有用型では、3回目まで増加し、その後減少していることがわかった。ただし、各平均値の差は10単位未満であり、僅かであった。

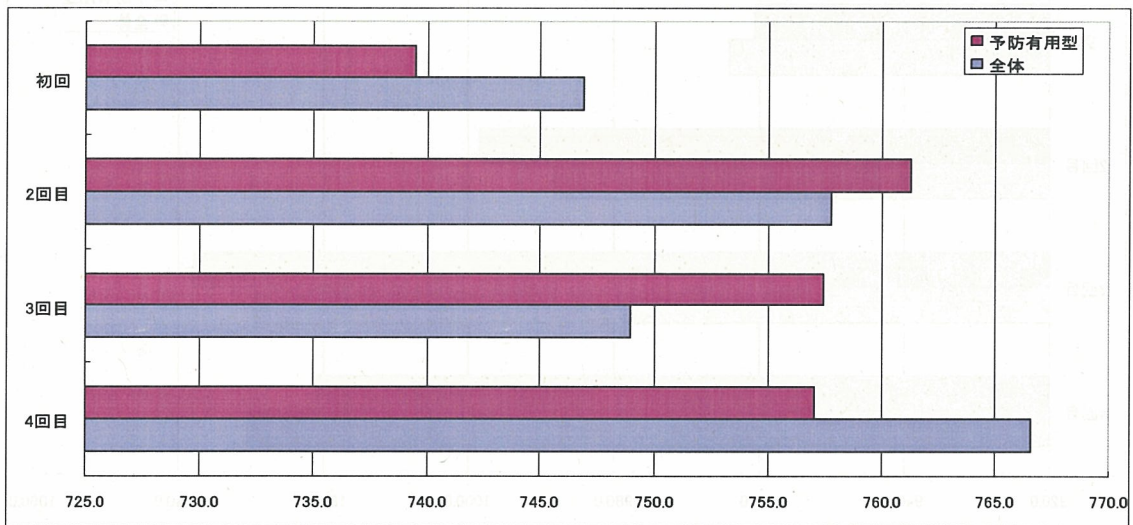


図 399 療養管理（医師・歯科医師）の変動

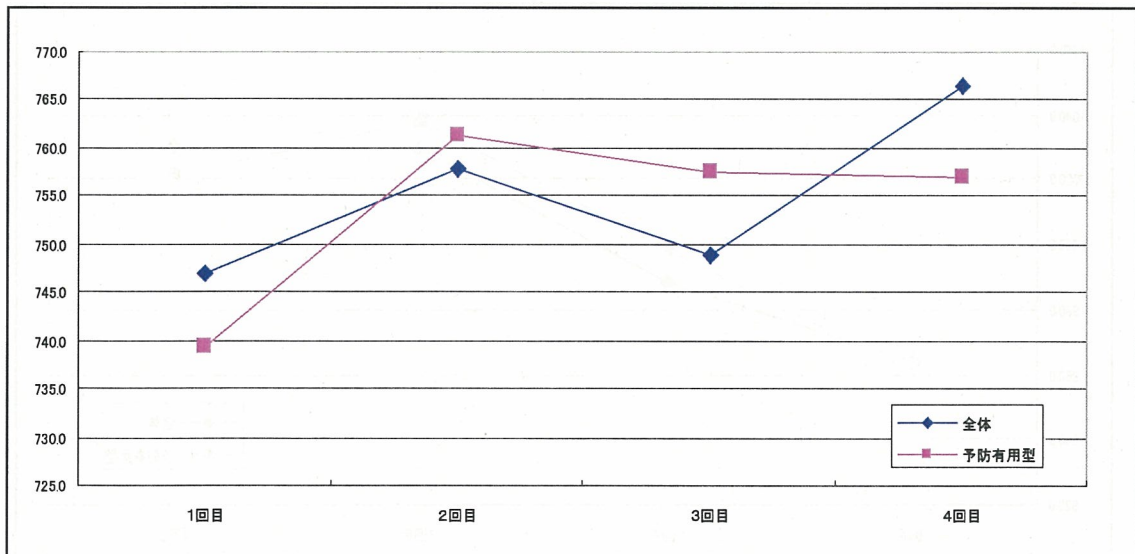


図 400 療養管理（医師・歯科医師）の経年的変化

(16) 療養管理(その他)

全体の傾向としては、療養管理(その他)の1人当たりの平均値は初回で964.1単位、2回目で988.4単位、3回目で1029.5単位、4回目で1030.5単位となっていた。

予防有用型では、療養管理(その他)の1人当たりの平均値は初回で960.5単位、2回目で998.3単位、3回目で1037.9単位、4回目で1021.1単位となっていた。平均値は2回目と3回目以外は、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から4回目に増加していたが予防有用型では3回目まで増加し、その後減少していた。しかし、各平均値の差は10単位未満の差で僅かであった。

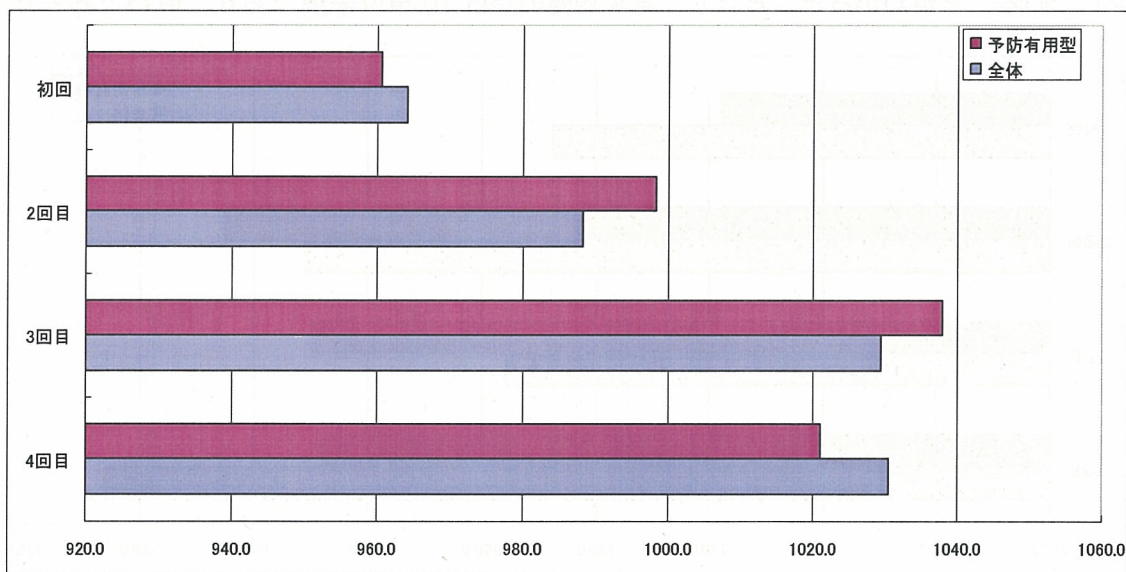


図 401 療養管理(その他)の変動

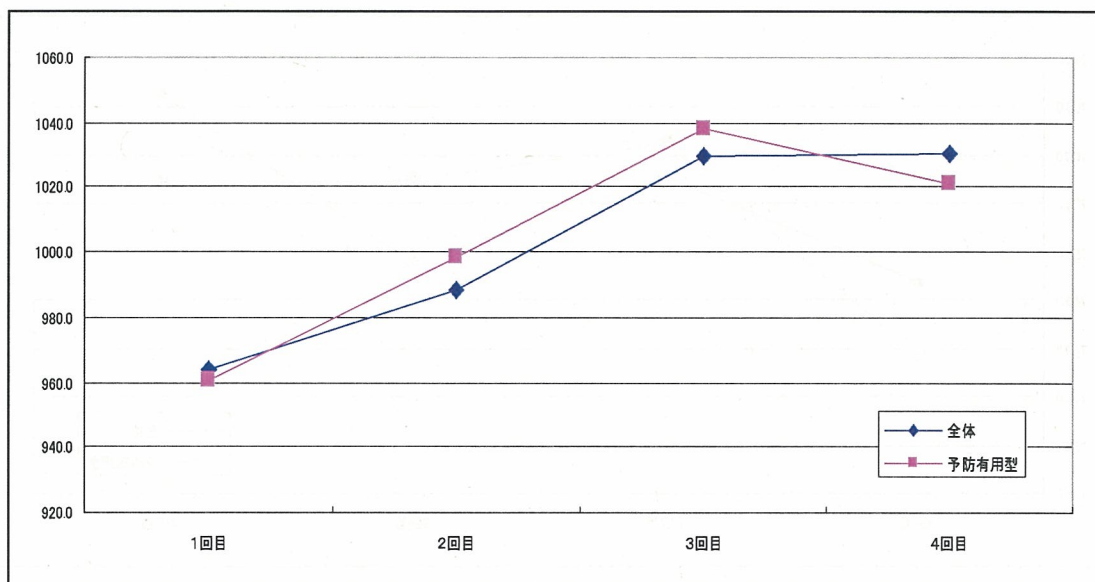


図 402 療養管理 (その他) の経年的変化

(17) 認知症対応

全体の傾向としては、認知症対応の1人当たりの平均値は初回で21700.2単位、2回目で23085.1単位、3回目で23617.4単位、4回目で24353.4単位となっていた。

予防有用型では、認知症対応の1人当たりの平均値は初回で19056.8単位、2回目で21575.3単位、3回目で22825.1単位、4回目で23073.7単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値は低かった。

また、全体の傾向と同様に予防有用型の平均値は初回から4回目にかけて増加していた。

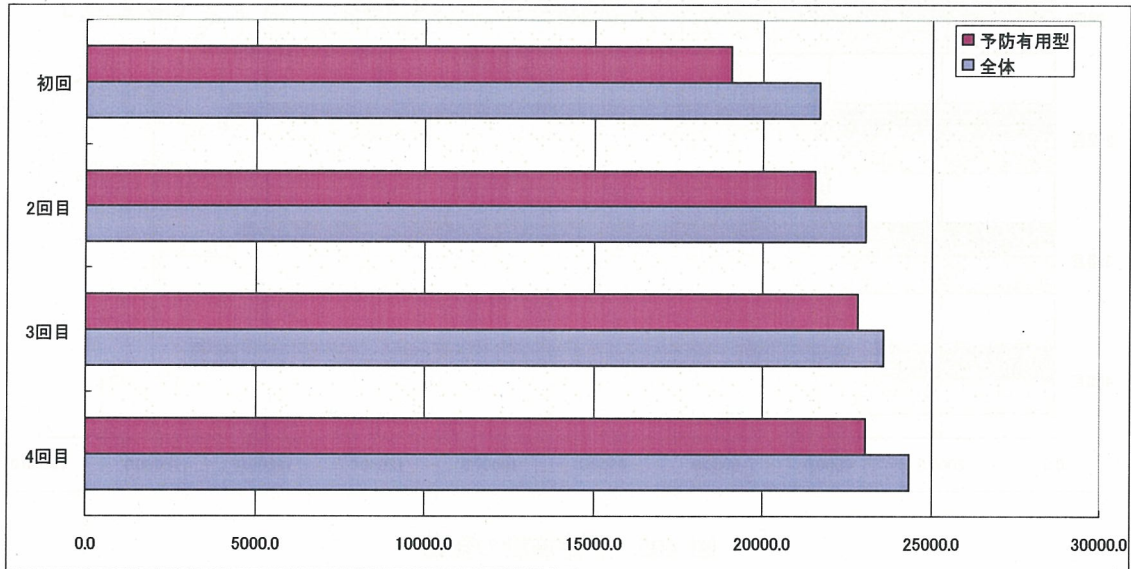


図 403 認知症対応の変動

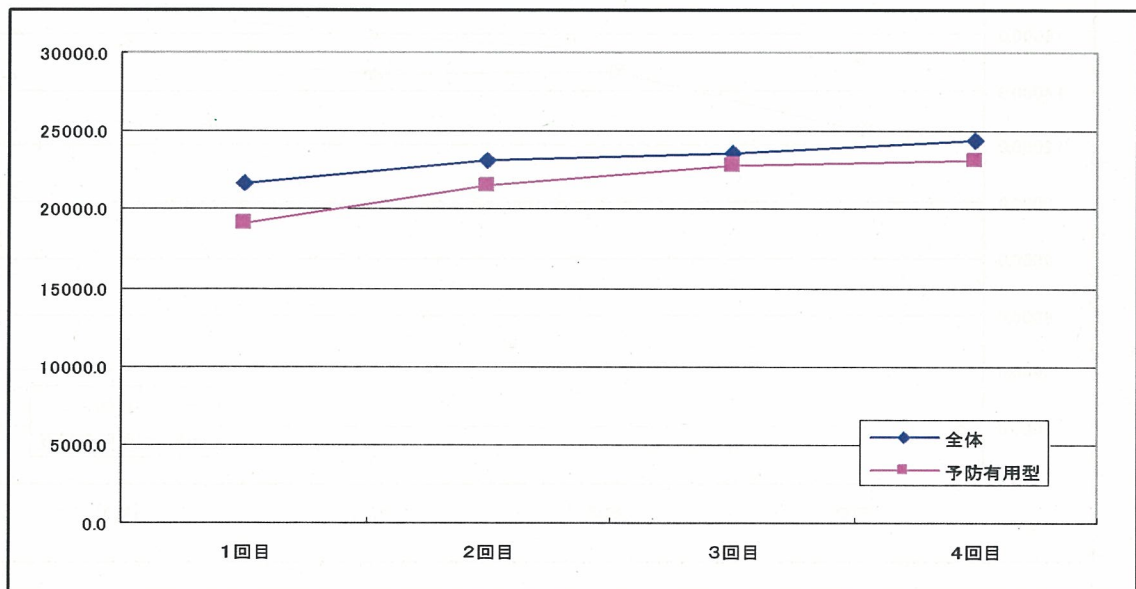


図 404 認知症対応の経年的変化

(18) 特定施設

全体の傾向としては、特定施設の1人当たりの平均値は初回で15119.0単位、2回目で15424.3単位、3回目で15900.6単位、4回目で16896.5単位となっていた。

予防有用型では、特定施設の1人当たりの平均値は初回で12479.6単位、2回目で14678.3単位、3回目で14517.6単位、4回目で15366.2単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値は低かった。また、全体の傾向は初回から4回目に増加しているが、予防有用型では、2回目から3回目で減少し、その後増加していた。

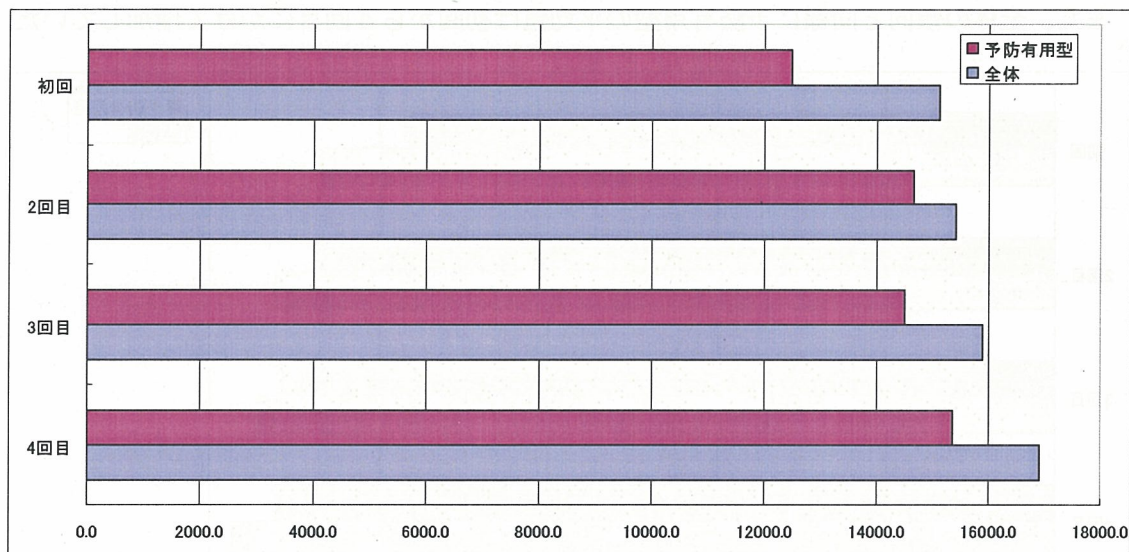


図 405 特定施設の変動

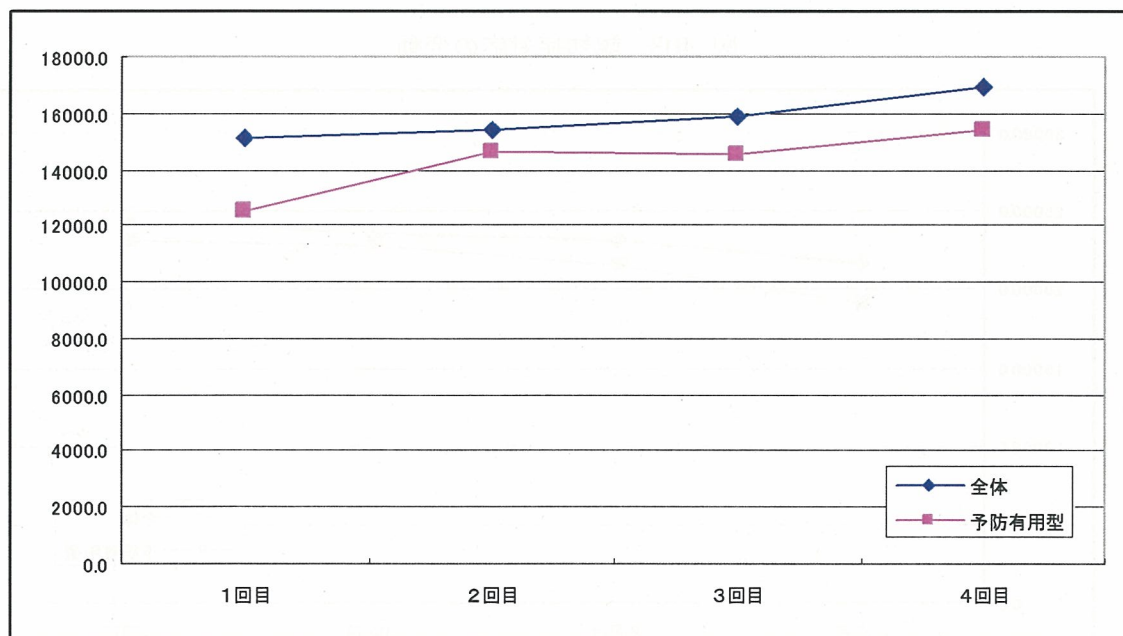


図 406 特定施設の経年的変化

(19) 福祉施設

全体の傾向としては、福祉施設の1人当たりの平均値は初回で24366.6単位、2回目で25257.3単位、3回目で25573.4単位、4回目で26259.1単位となっていた。

予防有用型では、福祉施設の1人当たりの平均値は初回で23852.7単位、2回目で24709.1単位、3回目で24076.9単位、4回目で24695.4単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から4回目に増加していたが、予防有用型では、初回から2回目に増加し、3回目に減少、その後、増加していた。

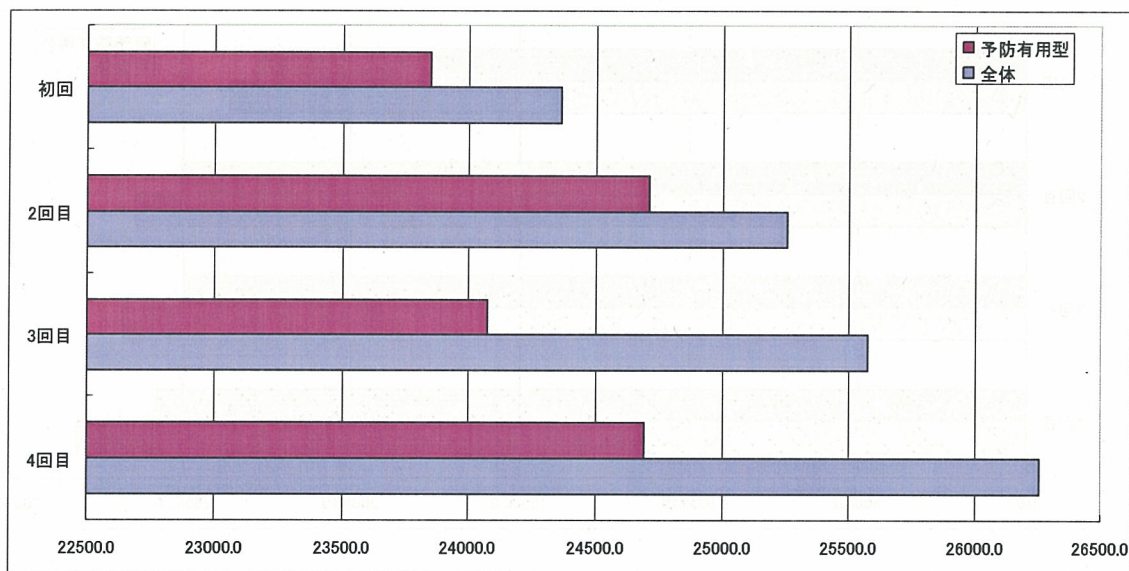


図 407 福祉施設の変動

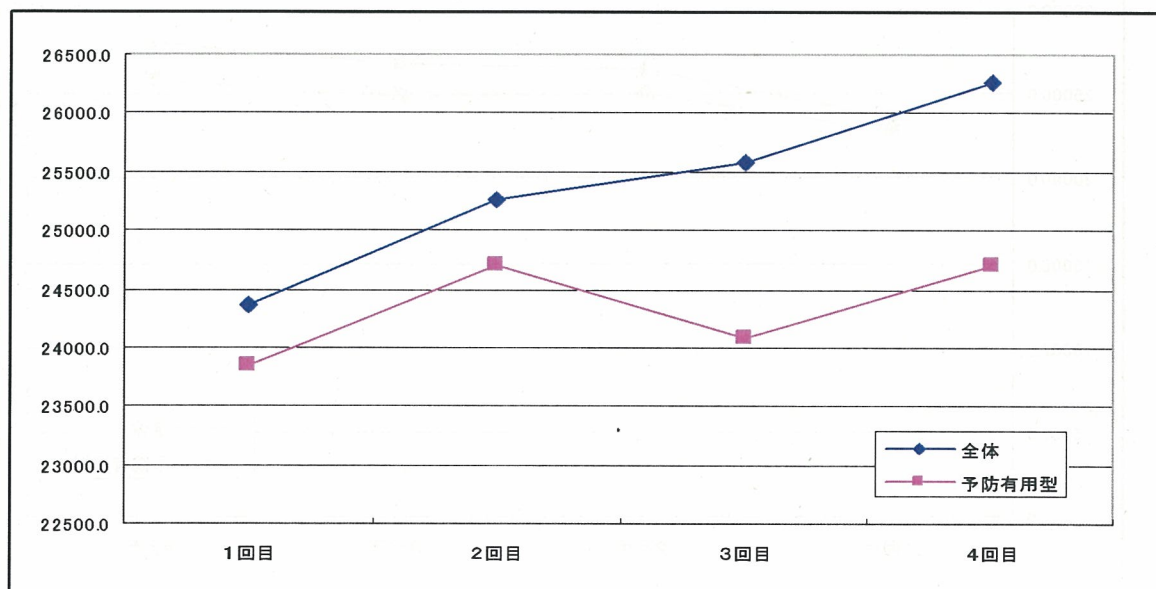


図 408 福祉施設の経年的変化

(20) 保健施設

全体の傾向としては、保健施設の1人当たりの平均値は初回で23621.0単位、2回目で26398.7単位、3回目で26773.8単位、4回目で28135.8単位となっていた。

予防有用型では、保健施設の1人当たりの平均値は初回で22702.9単位、2回目で25029.5単位、3回目で24843.0単位、4回目で25774.4単位となっていた。保健施設も福祉施設同様、どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から4回目に増加しているが、予防有用型では、初回から2回目に増加し、3回目には減少し、4回目に増加していた。

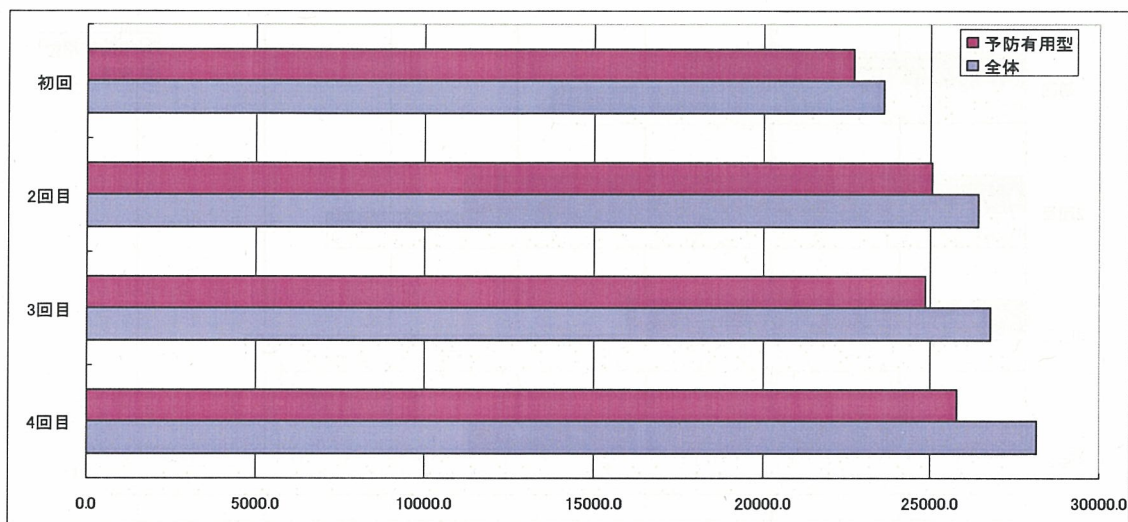


図 409 保健施設の変動

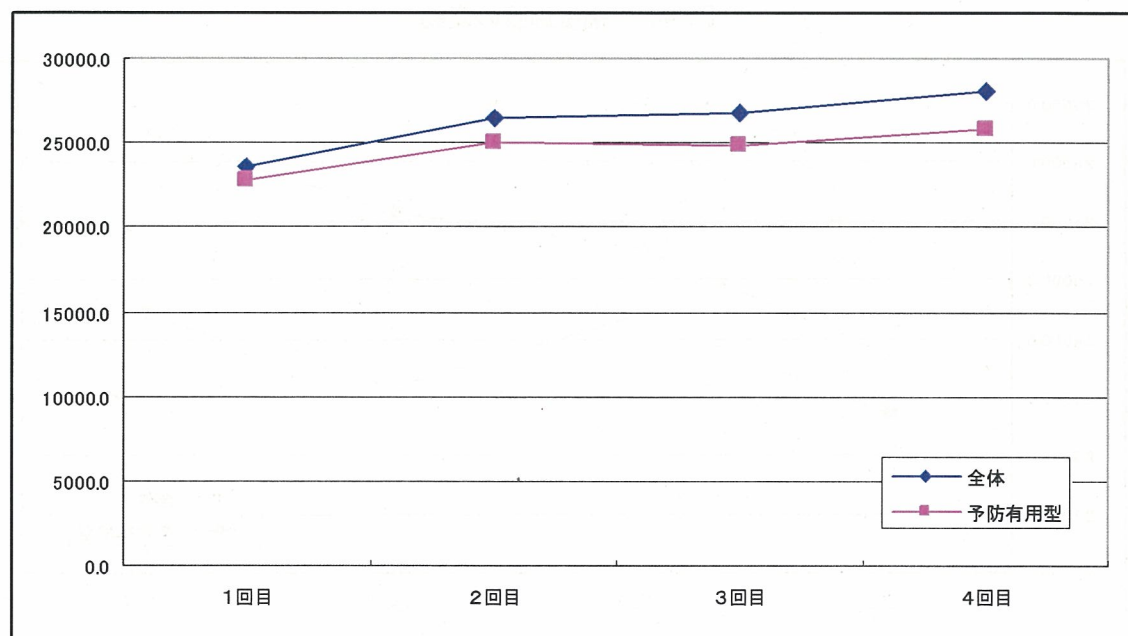


図 410 保健施設の経年的変化

(21) 療養施設

全体の傾向としては、療養施設の1人当たりの平均値は初回で31048.8単位、2回目で32943.2単位、3回目で32603.7単位、4回目で34659.6単位となっていた。

予防有用型では、療養施設の1人当たりの平均値は初回で29223.4単位、2回目で32843.1単位、3回目で30746.4単位、4回目で31676.2単位となっていた。どの認定時においても、全体に比べて予防有用型の平均値が低かった。また、全体の傾向は初回から4回目に増加していたが、予防有用型では、初回から2回目に増加し、3回目に減少し、4回目に増加していた。

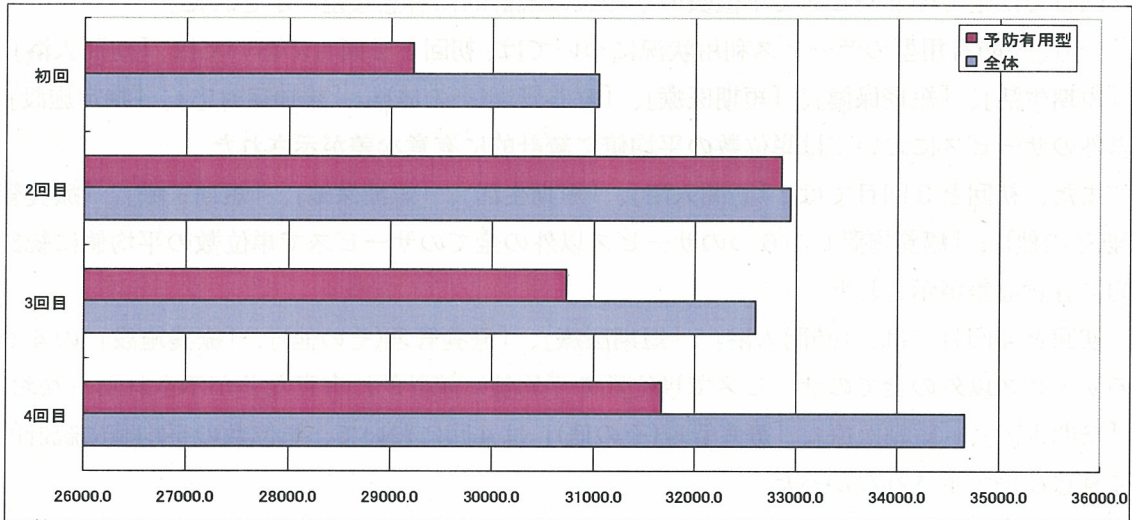


図 411 療養施設の変動

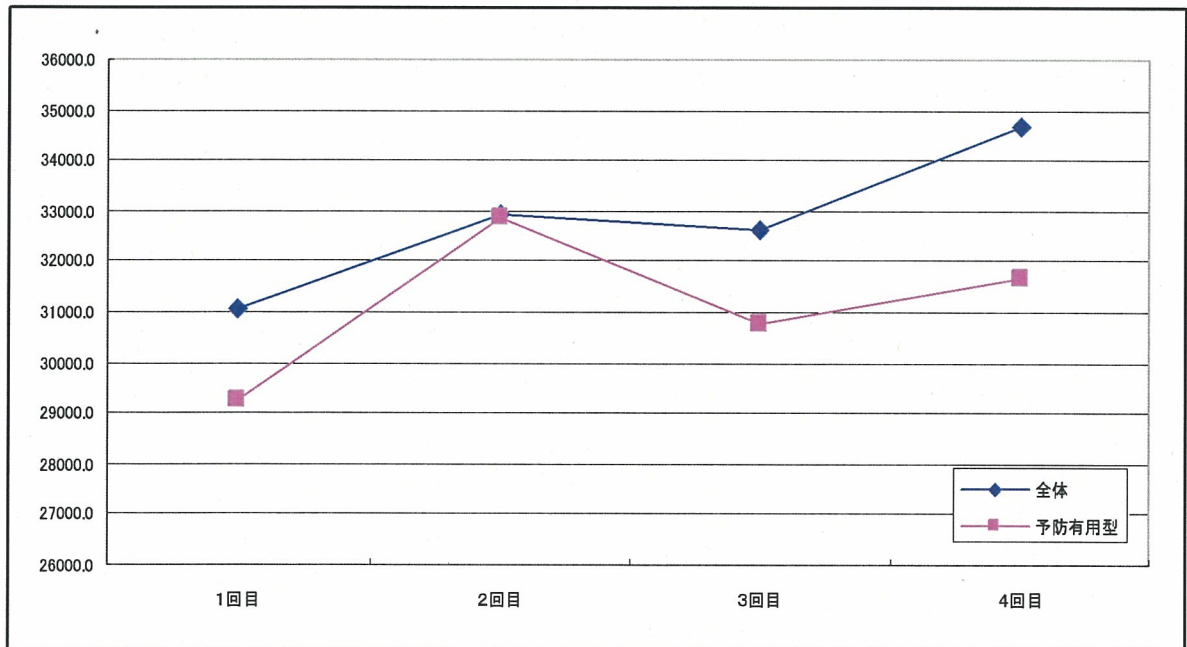


図 412 療養施設の経年的変化

3.介護サービス利用単位の認定時の比較

介護サービス利用単位について、初回と2回目、3回目、4回目の変化について分析した。この分析に際して、それぞれの利用単位に関して対応のある T 検定を用い、初回の単位数とそれぞれの回の単位数を比較した。

この分析の結果、全対象におけるサービス利用状況は、初回と2回目においては「短期保健」、「短期医療」、「特定施設」以外のサービス料においては、単位数の平均値に統計的に有意な差が示され、ほとんどのサービスが増加していた。また、初回と3回目、初回と4回目では全てのサービスで単位数の平均値に統計的に有意な差が示された。

一方、予防有用型のサービス利用状況については、初回と2回目においては、「訪問入浴」、「短期生活」、「短期保健」、「短期医療」、「療養管理(その他)」、「認知症対応」、「特定施設」以外のサービスにおいては単位数の平均値に統計的に有意な差が示された。

また、初回と3回目では、「訪問入浴」、「短期生活」、「短期保健」、「短期医療」、「療養管理(その他)」、「療養施設」の6つのサービス以外の全てのサービスで単位数の平均値に統計的に有意な差が示された。

初回と4回目では、「訪問入浴」、「短期医療」、「療養管理(その他)」、「療養施設」の4つのサービス以外の全てのサービスで単位数の平均値に統計的に有意な差が示された。なお、「訪問入浴」、「短期医療」、「療養管理(その他)」は4回において、単位数の平均値に統計的に有意な差が示されなかった。

表 197 全体のサービス種別利用単位の認定時の変動 (N=16,156)

	初回⇔2回目		初回⇔3回目		初回⇔4回目	
	P		P		P	
訪問介護(身体)		0.00 **		0.00 **		0.00 **
訪問介護(身体・家事)		0.00 **		0.00 **		0.00 **
訪問介護(家事)		0.00 **		0.00 **		0.00 **
訪問入浴		0.00 **		0.00 **		0.00 **
訪問看護		0.00 **		0.00 **		0.00 **
訪問リハ		0.00 **		0.00 **		0.00 **
通所介護		0.00 **		0.00 **		0.00 **
通所リハ		0.00 **		0.00 **		0.00 **
用具貸与(車いす)		0.00 **		0.00 **		0.00 **
用具貸与(特殊寝台)		0.00 **		0.00 **		0.00 **
用具貸与(その他)		0.00 **		0.00 **		0.00 **
短期生活		0.00 **		0.00 **		0.00 **
短期保健		0.19		0.00 **		0.00 **
短期医療		0.31		0.00 **		0.01 **
療養管理(医師・歯科医師)		0.00 **		0.00 **		0.00 **
療養管理(その他)		0.01 *		0.00 **		0.00 **
認知症対応		0.00 **		0.00 **		0.00 **
特定施設		0.12		0.00 **		0.00 **
福祉施設		0.00 **		0.00 **		0.00 **
保健施設		0.00 **		0.00 **		0.00 **
療養施設		0.00 **		0.00 **		0.00 **

* p < .05 ** p < .01

表 198 予防有用型におけるサービス種別利用単位の経年的変化 (N=6,597)

	初回⇔2回目	初回⇔3回目	初回⇔4回目
	P	P	P
訪問介護(身体)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
訪問介護(身体・家事)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
訪問介護(家事)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
訪問入浴	0.18	0.18	0.10
訪問看護	0.00 **	0.00 **	0.00 **
訪問リハ	0.00 **	0.01 *	0.05
通所介護	0.00 **	0.00 **	0.00 **
通所リハ	0.00 **	0.00 **	0.00 **
用具貸与(車いす)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
用具貸与(特殊寝台)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
用具貸与(その他)	0.00 **	0.00 **	0.00 **
短期生活	0.99	0.07	0.00 **
短期保健	0.38	0.06	0.08 **
短期医療	0.41	0.06	0.11
療養管理(医師・歯科医師)	0.01 *	0.00 **	0.00 **
療養管理(その他)	0.53	0.52	0.19
認知症対応	0.06	0.00 **	0.00 **
特定施設	0.14	0.01 *	0.00 **
福祉施設	0.00 **	0.00 **	0.00 **
保健施設	0.00 **	0.00 **	0.00 **
療養施設	0.04 *	0.23	0.87

* p < .05 ** p < .01

第11章 全対象者の介護サービスの組み合わせ状況の経年的推移

1. 認定時点別サービス提供の組み合わせ数とその人数の推移

初回から4回目のそれぞれの認定時のサービス提供の組み合わせ数について調べた結果、どの認定時においてもサービスを利用していないものがいた。初回は、16.5%と最も高く、2回目は、10.1%、3回目は7.7%と減少していたが、4回目に再び13.0%と増加していた。

介護サービスの組み合わせに関しては、1種類のサービスのみを利用している高齢者が最も多かった。この1種類のみ利用割合は、初回は、59.8%、2回目は、60.1%と増加していた。3回目は、58.8%と減少し、4回目は、51.4%とさらに減少していた。

2種類利用は、初回阿賀16.0%、2回目は18.5%、3回目は、19.5%と増加していたが、4回目は、19.4%とわずかに低くなっていた。3種類利用は、初回4.9%、2回7%、3回8.3%、4回9.0%と漸次、増加していた。4種類以上組み合わせたサービスを使っている要介護高齢者は、増加しているものの、どの認定時においても10%未満であり、初回では459名(2.8%)、2回目では703名(4.4%)、3回目では916名(5.7%)、4回目では1,181名(7.3%)と低い割合であった。

表 199 認定時別サービス種類と利用者数

	初回		2回目		3回目		4回目	
	N	%	N	%	N	%	N	%
サービス利用なし	2,667	16.5	1,631	10.1	1,252	7.7	2,094	13.0
1種類利用	9,659	59.8	9,709	60.1	9,497	58.8	8,304	51.4
2種類利用	2,586	16.0	2,986	18.5	3,150	19.5	3,131	19.4
3種類利用	785	4.9	1,127	7.0	1,341	8.3	1,446	9.0
4種類利用	300	1.9	449	2.8	553	3.4	676	4.2
5種類利用	117	0.7	178	1.1	247	1.5	327	2.0
6種類利用	31	0.2	59	0.4	79	0.5	128	0.8
7種類利用	7	0.0	11	0.1	24	0.1	44	0.3
8種類利用	3	0.0	5	0.0	12	0.1	5	0.0
9種類利用	1	0.0	1	0.0	1	0.0	1	0.0
計	16,156	100	16,156	100	16,156	100	16,156	100